

利根別自然休養林で「利根別の森オオハンゴンソウ駆除」を実施

～特定外来生物：オオハンゴンソウの駆除（４回目）を、
利根別自然休養林研究会主催のもと、
岩見沢市及び振興公社と協力して実施～

８月２４日（日）、岩見沢市市街地に隣接する利根別自然休養林において、曇り空のもと、一般市民を含む約１５名が参加し、特定外来生物であるオオハンゴンソウの駆除（４回目）を実施しました。

オオハンゴンソウ（＊）は、市街地を含む多くの場所に群生しており、４年前、利根別自然休養林において、特定外来生物及び要注意外来生物に指定された植物とその分布状況を調べ、それをもとに環境省より「防除実施計画」の認定を受け、市民参加による防除活動を始めました。

駆除にあたっては、「くじら鉤（かぎ）」を利用し、根こそぎ抜き取る作業を行いました。花が咲いて既に種子が稔っているため、花が付いている茎の上部と、それ以外に分けて回収した結果、駆除総量６４kgとなりました。

参加者が汗して作業され今年度の駆除を終えましたが、この防除活動は、継続していくことが大事と言うことで、来年度も引き続き実施していくこととし解散となりました。

＊）オオハンゴンソウ： キク科オオハンゴンソウ属の１種、北米原産で、人の背丈ほどから２メートル以上にもなる大型の多年草、繁殖能力が高く在来種を脅かす存在。



【オオハンゴンソウの説明】



【防除活動の様子】